

済生会山口総合病院 外来医師担当表

平成24年8月1日現在

●各科外来の受付時間は 午前8時30分～11時
 診療開始時間は 午前9時～(曜日等により異なる場合あり)
 急患の場合はこの限りではありません。
 ●都合により代診・休診とさせていただきますのでご了承ください。

診療科名		月	火	水	木	金
内科 083-901-6102	循環器科	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	小野 史朗 (循環器科)	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	小野 史朗 (循環器科)	國近 英樹 (循環器科)
		塩見 浩太郎 (循環器科)	國近 英樹 (循環器科)		塩見 浩太郎 (循環器科)	渋谷 正樹 (循環器・腎臓科)
		末富 建 (循環器科)	赤川 英三 (循環器科)		赤川 英三 (循環器科)	末富 建 (循環器科)
	腎臓科	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	今井 剛 (腎臓科)	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	今井 剛 (腎臓科)	渋谷 正樹 (循環器・腎臓科)
				渋谷 正樹 (循環器・腎臓科)		
血液内分泌 糖尿病科	藤田 直紀 (血液内分泌・糖尿病科)	村木 和彦 (血液内分泌・糖尿病科)		村木 和彦 (血液内分泌・糖尿病科)	藤田 直紀 (血液内分泌・糖尿病科)	
消化器科	原田 稔也 (消化器科)	佐々木 敏行 (消化器科 胆臓)	花田 浩 (消化器科 肝臓)	佐々木 敏行 (消化器科 胆臓)	白石 龍 (消化器科)	
【専門外来】○神経内科 * 古賀 道明医師の診察となります。 ○リウマチ科 * 久保 誠医師の診察となります。 毎週水曜日 完全予約制 毎週金曜日 完全予約制 注) 神経内科・リウマチ科については、紹介予約枠が限られています。ご確認ください。						
外科 083-901-6107	1診	小林 俊郎 (一般・心血管)	高橋 剛 (消化器・一般)	郷良 秀典 (心血管・呼吸器)	神保 充孝 (一般・呼吸器)	高橋 剛 (消化器・一般)
	2診	斎藤 聡 (一般・血管)		岡崎 嘉一 (一般・血管)		
【専門外来】○乳腺外来 午前10時～午前11時 毎週火曜日 上杉尚正 医師の診察となります。 午後2時～3時 毎週金曜日 高橋 剛 医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前8時30分～午前11時 毎週水曜日 斎藤 聡 医師の診察となります。						
小児科 083-901-6106	1診	休診	休診	* 非常勤医師	休診	* 非常勤医師
	【受付時間】 午前8時30分～11時30分		【専門外来】 ○神経・発達外来 * 林 隆医師の診察となります。 月曜日 午後1時30分～		【乳児検診・予防接種】 水曜日・金曜日 午前10時～11時	
耳鼻咽喉科 083-901-6124	1診	豊田 英樹	随時	豊田 英樹	豊田 英樹	豊田 英樹
	2診	樽本 俊介	手術日	樽本 俊介	樽本 俊介	樽本 俊介
	○水曜日のみ午後受付あり 午後3時～4時(新患・再来) ○火曜日のみ午前9時30分～診療開始 非常勤医師による診察となります。					
脳神経外科 083-901-6109	1診	加藤 祥一	湧田 幸雄	* 完全予約制 湧田 幸雄	加藤 祥一	北原 哲博
	2診	鳥居 廣明	北原 哲博		鳥居 廣明	
整形外科 083-901-6108 ※初診は完全紹介制	初診	井上 裕文 (骨椎・外傷)	三原 修三 (肩関節・外傷)	手術日	* 完全紹介予約制 岸本 哲朗 (骨椎・人工関節)	大野 晃靖 (手足の外科・末梢神経・外傷)
	再診	岸本 哲朗	大野 晃靖	* 三原・井上・大野が 順番で診察	井上 裕文	三原 修三
産婦人科 083-901-6122	1診	古谷 信三	* 山口大学より	古谷 信三	古谷 信三	古谷 信三
	○不妊外来(火)午前のみ ○妊婦健診(月)午後1時～午後3時30分 要予約					
眼科 083-901-6123	1診	休診	* 非常勤医師	休診	* 非常勤医師	休診
皮膚科 083-901-6110	1診	山田 隆弘	山田 隆弘	山田 隆弘	山田 隆弘	山田 隆弘
	○水曜日のみ午後受付あり 午後2時～3時(新患・再来) ○第3・4月曜日 * 古元礼子医師の診察となります。					
泌尿器科 083-901-6120	1診	城甲 啓治	大場 一生	城甲 啓治	大場 一生	大場 一生

医療機関の先生方へ

放射線科	放射線科の診療は完全予約制となっております。 CT・MR・RIは直接ご予約できます。 CT予約 083-901-6149 予約受付 MR予約 083-901-6151 〔月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時〕 RI予約 083-901-6154 (※心筋シンチについては内科・循環器科にご紹介ください。)
放射線科	放射線科検査についてのご相談は 放射線科 中村 洋 医師まで 083-901-6551
栄養科	糖尿病、高脂血症、減塩等の栄養指導をお受けいたします。 個人指導・糖尿病教室 TEL 083-901-6177 FAX 083-921-0714 詳しくは栄養科へお問い合わせください。
地域連携室	患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか病院ホームページをご覧ください。 予約受付 (月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL083-901-6187 FAX083-928-3357 E-mail:renkei@yamaguchi.saiseikai.or.jp 担当 河嶋 裕子

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、または病院宛にご郵送等にてお願いいたします。

Life No.47

済生会山口総合病院情報誌 平成24年8月1日発行

済生会山口総合病院 TEL083-901-6111(代表) FAX083-921-0714 〒753-8517 山口市緑町2-11

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

Life

ライフ

NO.47

地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院



山口県済生会山口総合病院

発行：地域連携委員会

〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL：083-901-6111(代表)

理念：私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針

- 一、急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。
- 一、良質の医療サービスを提供します。
- 一、目標達成のため自己研鑽につとめます。

患者さんの権利

1. 平等で適切な医療を受けること
2. 尊厳が守られること
3. 医療に関する説明や情報の提供を受けること
4. プライバシーが守られること
5. 自らの意思で医療を選択すること

8月	お盆も通常通り診療いたします。					
11日(土)	12日(日)	13日(月)	14日(火)	15日(水)	16日(木)	
×	×	○	○	○	○	

糖尿病週間行事のお知らせ

今年も下記の日程で糖尿病週間行事を開催致します。参加無料です。皆様ふるってご参加下さい。

テーマ チーム医療で糖尿病透析予防



昨年の行事の様子

日時：平成24年11月8日(木)

場所：済生会山口総合病院

済生会山口総合病院 糖尿病対策チーム



昨年の医療相談の様子

健康講座

地域の皆さまに、より健康な生活を送っていただけるように、毎月1回健康講座を開催しております。

参加は無料です。ぜひ、お気軽にご参加ください。

9月の予定

- 日 時：平成24年9月14日(金) 15:00～16:00
- 場 所：済生会山口総合病院 4階大会議室
- テーマ：当院に導入された最新3テスラーMR装置について
- 講 師：院長補佐 中村 洋 (放射線部長)

かしじょうみゃくりゅう
**当院では下肢静脈瘤の
 血管内レーザー治療が可能です**

外科部長 齋藤 聡



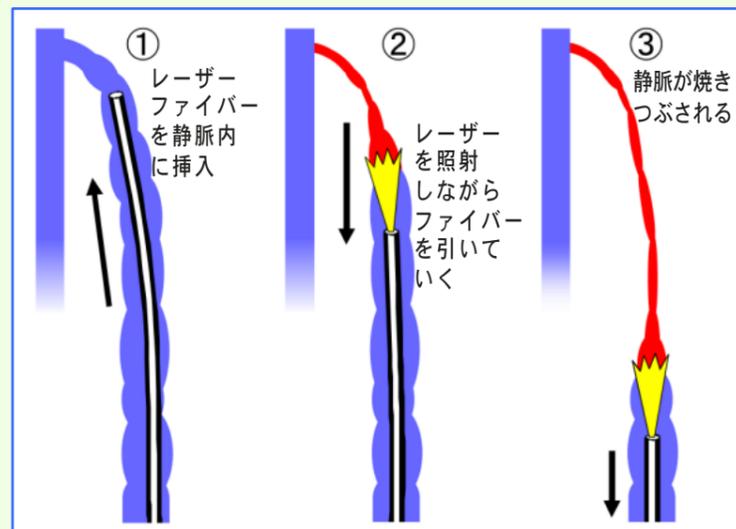
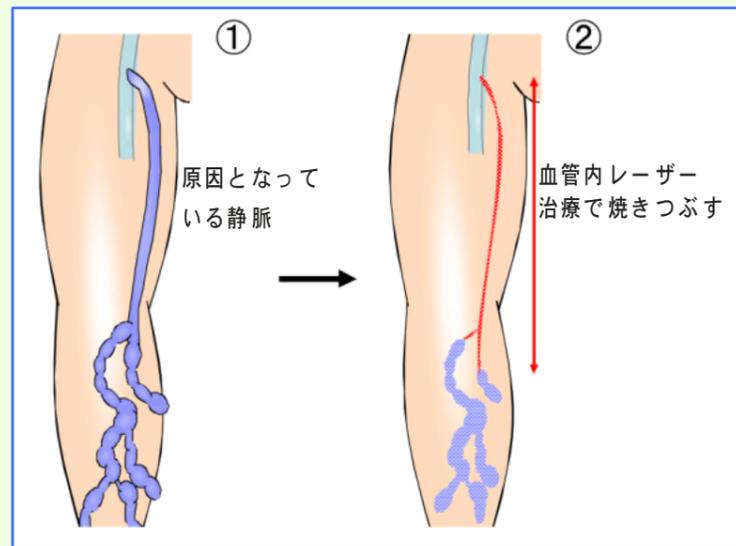
ご存知で
 しょうか？

「下肢静脈瘤（かしじょうみゃくりゅう）」とは足の静脈が瘤（こぶ）のように膨れる病気です。命にかかわることは少ないですが自然に治ることはなく徐々に進行して足を冒していくこともあるため軽視できない病気です。根本治療には手術が必要で、通常は原因となっている静脈を引き抜くという「ストリッピング手術」がなされます。

当院では、この手術を年間100例以上行っていますが、体への負担を少なくするために局所麻酔と小さな傷ですむ最新の方法を用いています。

更に平成23年より「血管内レーザー治療」が保険診療でできるようになり、治療の選択肢が広がりました。この治療法は原因となっている静脈にレーザーファイバーを入れて先からレーザー光を照射し血管を内側から焼いてつぶすという方法です。局所麻酔で治療ができ、傷もほとんどなく手術時間も早くなりました。基準をクリアし、資格を持った医師により行われる治療で山口県では当院と大学病院で導入されています。

しかし、レーザー治療は万能ではなく不向きな静脈瘤もあります。下肢静脈瘤の診断、治療のことやご不明点などありましたら外科外来にご相談下さい。



日本DMAT（ディーマツト） 隊員養成研修に参加して

事務局 人事課 平川 久則

DMAT(Disaster Medical Assistance Team)とは？

- ① 大規模災害や事故などの被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行う災害派遣医療チームのことで。
- ② 災害急性期といわれる48時間以内に活動を開始できるよう、専門的な研修や訓練を受けたチームで、機動性に富んでいるのが特徴の一つです。
- ③ 1チームが医師・看護師・業務調整員の5名で構成されています。

今回、私たちは6月11日から4日間、東京都立川市にある災害医療センターで行われた研修に参加しました。北は北海道から南は佐賀まで全国から8施設40名と個人参加24名の計64名の病院職員が参加し、当院からは医師1名・看護師2名・業務調整員として薬剤師1名と事務員の私を含め5名が参加しました。研修では、災害医療の体制とDMAT活動等についての講義や実際に災害が発生した場合を想定した机上シミュレーション、また本番さながらの実践訓練が実施されました。

昨年、東日本大震災という甚大な災害を経験したことに加え、近い将来発生するといわれている東海地震等への危機感もあり研修生一同、その重要性を強く認識し、緊

張感と使命感をもって4日間の研修を修了しました。

今後いつ起こるかわからない災害に備えいつでも出動できるようモチベーション維持のため定期的に技能研修等に参加し、同時に隊員として院内における災害医療の啓発にも努めて参りたいと思います。



左から桂看護師、齋藤医師、湯面看護師、平川事務員、林薬剤師



机上シミュレーション



個人装備の装着



指揮本部の設置準備



閉鎖空間での活動訓練

DMAT 発足の背景

平成7年（1995）の阪神淡路大震災では、避けられた災害死が約500名存在した可能性があるとも言われ、その初期医療体制の遅れが指摘されました。この反省から平成17年（2005）4月、「一人でも多くの命を助けよう」と厚生労働省により日本DMATが発足されました。以来全国でその配備が進められています。

Life No. 46号 訂正とお詫び

第5代総裁・寛仁親王殿下薨去の内容に誤りがありました。下記のとおり訂正させていただくとともに、慎んでお詫びいたします。

- 誤) 寛仁親王殿下は6月6日午後3時55分……薨去されました。
 正) 寛仁親王殿下は6月6日午後3時35分……薨去されました。